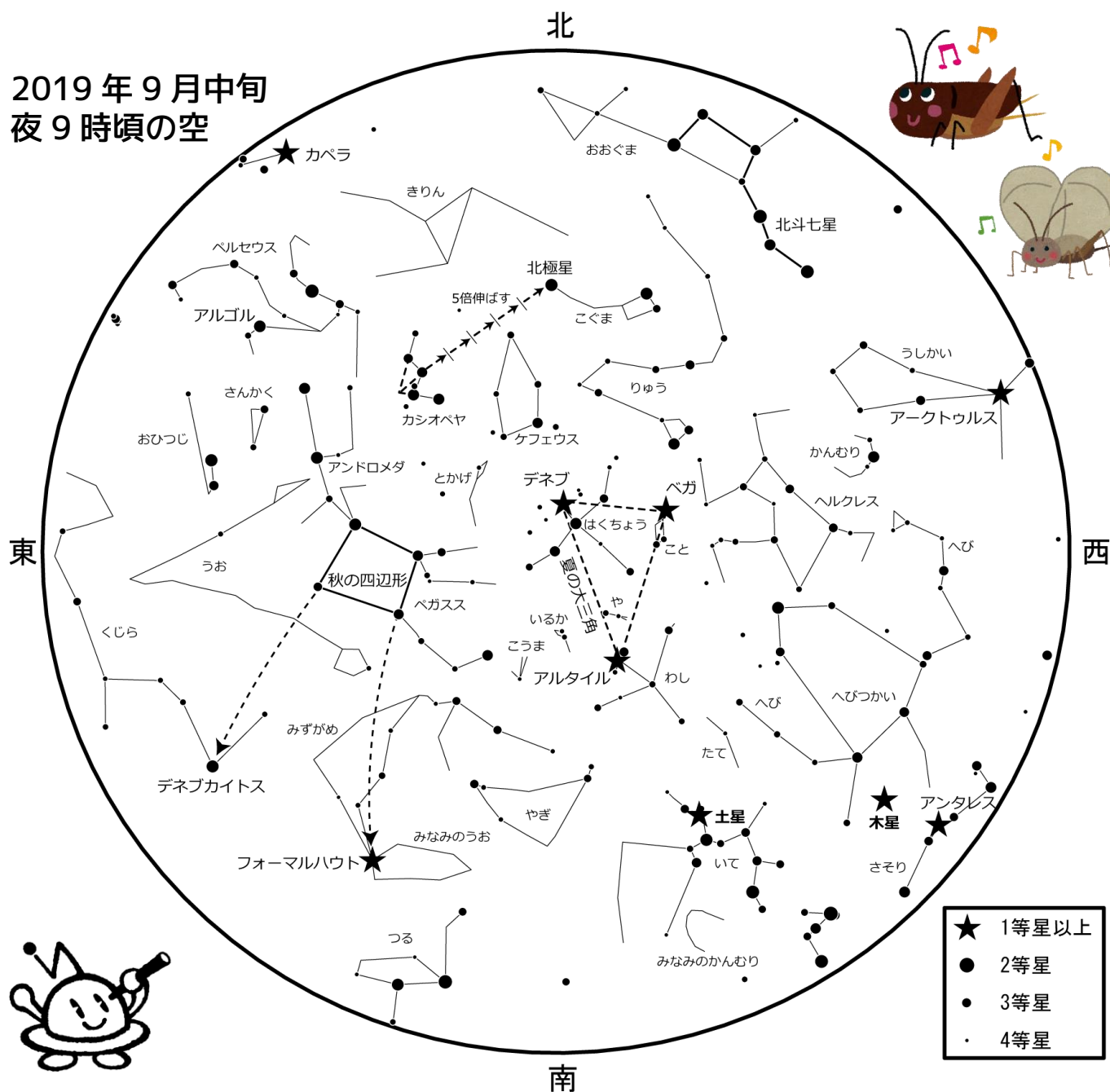


# 阿南市科学センター 9月の星空案内

2019年9月中旬  
夜9時頃の空



夏の大三角が空高く昇り、東の空には秋の星座が見えています。東の空にはペガサス座が昇り、ペガサスの胴体にあたる部分は秋の四辺形（ペガサスの四辺形）と呼ばれ、明るい星を探す目印にもなっています。秋の四辺形の西よりの一边を南の低空に伸ばすと、秋の唯一の1等星フォーマルハウト（みなみのうお座）が見つかります。さらに、秋の四辺形の東よりの一边を南の低空に伸ばすと、2等星デネブカイトス（くじら座）も見つかります。さらに北東の空にはアルファベットのMもしくはWの形に星が並んだカシオペヤ座も昇ってきており、この星座を使って北極星を見つけることもできます。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

## ☾ 月の満ち欠け

名称	上弦の月	満月	下弦の月	新月
形状				
見える日	9月6日	9月14日	9月22日	9月29日

## ♃ 惑星について

名称	水星	金星	火星	木星	土星
見どころ	下旬の日没後、西のごく低空に見える。	日没後、西のごく低空に見える。	太陽が近く暗いため、見るのは難しい。	宵の南西の空に見える。	宵の南の空に見える。
明るさ	約0等	約-4等	約2等	約-2等	約0等

## ☆ 季節の天体と天文現象

### 【アレイ状星雲 “M27”】



図1：アレイ状星雲（M27）

惑星状星雲の一つであるアレイ状星雲（M27）は、その名のとおり、星雲の比較的濃い部分が鉄アレイの形をしています（図1）。この特徴的な形に加え、見かけの大きさは月の直径の約2分の1もあります。そのため、天体写真撮影としては、好対象の天体です。

M27は太陽と同じくらいの質量の恒星（自ら光を出している星）が寿命を迎えてガスを放出した姿で、現在も拡大し続けています。将来的には拡がり続けるガスの密度は薄まっていき、鉄アレイの姿は見えなくなるでしょう。そして、M27の中心にある白色矮星だけが残ると考えられます。

### 【中秋の名月】

旧暦の8月15日の月を中秋の名月といいます。旧暦の8月15日を現在の暦にあてはめると、2019年は9月13日（金）が中秋の名月で、満月の約1日前のわずかに欠けた月となります。

中秋の名月の日は、昔からお月見をする風習があり、ススキや里芋等を供えることから芋名月とも呼ばれます。この風習の歴史は古く、平安時代に中国から遣唐使によって日本に伝わったと言われています。

阿南市科学センターでは、9月13日（金）に特別観望会「中秋の名月を観察しよう」を行います。ぜひ、お越しください！



図2：2017年の中秋の名月（2017年10月4日撮影）